

あいとびあレインボープラン(狛江市第4次地域福祉計画等)(素案)に対する パブリックコメント及び市民説明会の実施結果

(1)パブリックコメントの募集方法

- ①広報こまえ(平成 29 年 11 月 15 日号)への掲載
- ②狛江市ホームページへの掲載
- ③地域福祉課窓口での閲覧

(2)パブリックコメント提出方法

- ①地域福祉課への書面による提出
- ②郵便による送付
- ③ファクシミリによる送信
- ④電子メール、狛江市ホームページ専用フォームによる送信

(3)パブリックコメント実施期間

平成 29 年 11 月 27 日(月)午前8時 30 分から 12 月 26 日(火)午後5時 15 分まで

(4)パブリックコメントを提出できる者の範囲

狛江市内に在住、在学又は在勤する方

(5)パブリックコメント提出数

提出者数 5人
意見等件数 6件

(6)市民説明会及び講演会の開催結果(27日(月)は市民説明会のみ)

日時	場所	参加者
平成 29 年 11 月 25 日(土) 午後1時 30 分から	狛江市中央公民館地下ホ ール	50 人
平成 29 年 11 月 27 日(月) 午後7時から	狛江市役所防災センター3 階会議室	14 人

パブリックコメント期間中の意見

(1) 狛江市第4次地域福祉計画

文書による意見のみ

番号	内容	回答(案)
1	<p>ほぼすべて住民頼り、ボランティア頼りというのは、なかなか難しいと思う。</p>	<p>本計画では、地域住民みんなで支え合う地域づくりを目指しています。</p> <p>そのため、町会・自治会を基本とした身近な圏域において、地域住民同士のつながりにより、日常的な支え合い活動や見守り活動等を行ってまいります。</p> <p>併せて、コミュニティソーシャルワーカー(地域福祉コーディネーター)¹を配置し、地域生活課題の解決に向けた取組みを行ってまいります。</p>

(2) 狛江市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画

文書による意見のみ

番号	内容	回答(案)
1	<p>若年(40～50歳代)の労働者に認知症者が多くなったが、狛江市の対策をされていないと感じる。</p>	<p>現在、若年性認知症施策につきましては、都道府県レベルでの対応となっております。今後、国、東京都の動向を注視してまいります。</p>
2	<p>現在、介護用ロボットの導入が、多く望まれ都内の施設では、効果的な要因として、導入する施設が増加しています。狛江市では如何されていますか。</p>	<p>介護用ロボットの導入に当たっては、事業者負担が大きいため、補助金を活用できるよう情報提供を行っています。</p>
3	<p>低所得者も入所できる特養ホームを作してほしい。妻の知人が高い有料老人ホームに入って毎月20万円以上かかって大変という話を伺いました。</p>	<p>土地の確保、介護保険料への影響等からも新たな特養の建設は難しいところです。</p>

¹ ①個別支援、②小地域での生活支援の仕組みづくり・地区社協等の基盤づくり、③小地域では解決できない課題を解決していく仕組みづくりという3つの役割を担い、一定の小地域圏域にアウトリーチして、市民と協働して問題解決に取り組む社会福祉協議会のコミュニティワーカーをいう。

(3) 狛江市障がい者計画・第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画

メールによる意見1件

文書による意見1件

No.	内容	回答(案)
1	平成 30 年度より新たにサービスメニューに加わる「自立生活援助」については、もう少し利用量を多めに想定しても良いのではないかと思う。	「自立生活援助」は、地域移行と関連するサービスであり、地域移行の方の利用も踏まえて、自立生活援助の利用者数を見込んでいます。 計画値以上の利用者が見込まれる場合には、サービス利用に支障のないよう、可能な限り対応してまいります。
2	障がい者支援拠点の整備を 2020 年に予定していますが、整備には賛成だが、「ぼかぼか広場」への関係住民の意に反した設置はやめたほうがよいと思う。	ぼかぼか広場については、現在係争中のため回答は差し控えさせていただきます。